

事業報告 コード: NICE/13-021 **事業名: 石見銀山 1 (開催地: 島根県大田市)**

開催期間: 2013年02/25(月)~03/10(日):14日間

参加者ボランティア: 計4ヶ国・7人=日本4人+外国3人(フィンランド、メキシコ、香港)

(日本人は、女性4人・学生4人。19歳~32歳:平均23歳。その他、数百名の住民が様々な形で参加)

背景: (特活)緑と水の連絡会議と共催、7年連続、12回目。「石見銀山」は2007年に世界遺産に登録された。中世の銀鉱山遺跡が良好に保存されてきたのは、日本の気候のもたらした「緑のタイムカプセル」のおかげだと世界的に評価されている。

ところが、近年の森林の管理放棄により竹ヤブが拡大・繁殖し、遺跡の景観をささぎるだけでなく、石垣等の遺構を破壊し始めている。そこで、**森の手入れを通じて貴重な世界遺跡を保全**する市民活動が始まった。

2007年10月の「第15回全国雑木林会議石見銀山大会」の運営を、第1回国際ワークキャンプで補佐。2013夏の国際ワークキャンプでは、**観光客向けの竹杖づくりや、地元のイベントにも参加**

目的: ① 地球色のボランティアパワーで、貴重で豊かな石見銀山や三瓶山の保護活動を応援する。

② 市民と日本・世界の若者が、友情・相互理解・連帯感を育む。

実施日程	午前	午後	夜
02/25(月)		集合・オリエン	歓迎会
02/26(火)	大森小学校訪問、クリの苗床作り		フリー
02/27(水)	丸太ベンチ作り	学校訪問準備	フリー
02/28(木)	小学校訪問	丸太ベンチ作り	パーティー
03/01(金)	竹の杖づくり	ピザ屋の準備	フリー
03/02(土)	ピザ屋の準備	ピザ屋の出店	花火大会
03/03(日)	完成式参加	ホームステイ	
03/04(月)	ホームステイ		フリー
03/05(火)	2つの小学校で、ベンチ寄贈		パーティー
03/06(水)	観光(琴が浜、松江)		フリー
03/07(木)	竹林整備	竹の杖づくり	パーティー
03/08(金)	2つの小学校で、ベンチ寄贈		フリー
03/09(土)	木づかいバスツアー参加		お別れ会
03/10(日)	清掃	解散	

課題: 外国人2人が日本語を流暢に話せたため、日本語会話が増え、日本語を話せないメンバーが会話に入れない場面があった。

企画者・参加者の声:

色々な方に出会えた2週間でした。また、目的としていた竹林整備や大田市との方々との交流も充実し、それぞれに成長できたと感じられた。こうした成果はワークキャンプのメンバーひとりひとり、更に和田さんをはじめ、一平さん、本宮さん、Boss、山田さんら、緑と水、七色館の皆様のお蔭です。改めて感謝いたします。(リーダー)



仕事: ① **世界遺産・石見銀山**の景観が竹ヤブの拡大によって失われているため、**竹の伐採、チップ化作業**を行う。チップになった竹は、遊歩道整備に使われる。

② 6つの小学校で、**環境教育の授業等を企画・運営**。

③ サンベ花火大会や郷蔵普請完成式での参加ピザ屋出店。

場所: 島根県中央部、出雲空港から1時間半。JR山陰線・大田市駅。国立公園三瓶山、戦国時代後期から江戸時代前期にかけての日本最大の銀山である世界遺産石見銀山の最寄駅。銀山の最盛期は、欧州にとって日本で最も有名な場所の一つだった。

宿泊: 大田市雪見地区のコミュニティセンター、ゆきみーるに宿泊。交代で自炊。寝具不要。

ワーク以外の活動: 石見銀山探索、花見大会、ホームステイ、大田市職員さんとパーティー

キャンプリーダー: 福田淳也

成果: **目的①に対して:** 1週目は主に石見銀山周辺での竹林伐採を行った。大森小をはじめ、地元の方々とも触れ合えた。



目的②に対して: 6校の訪問、花火大会参加、市職員の皆さんとの交流、幅広い年齢の方と国際交流ができた。市職員さんが研修外でも遊びにきてくれる等、ワークキャンプの楽しさを広められた。

今後の構想: ① 市職員の研修がワークキャンプに組み込まれたが、このつながりから新しいワーク等が生まれたら面白い。
② 小学校訪問で小学生が企画した活動に参加するのはどうか。

活動の様子: (他の時期に行われたものも含む)



問合せ先(本事業の企画担当職員): 宮岡希実 (NICE 関西事務局長) west@nice1.gr.jp